

和歌山大学
経済学部同窓会

柑芦わかやま

南出陽一(高商7回・故人)筆

柑芦会和歌山支部

編集発行人 坂本 漸
〒640-8567 和歌山市西汀丁36
和歌山商工会議所2階
山中盛義事務所内
TEL 073-423-1231
FAX 073-433-4066

巻頭対談 特集「地域社会デビュー」

和歌山大学 経済学部 芦田 昌也 学部長
柑芦会 坂本 漸 (すすむ) 支部長

当支部では、活動方針の一つに「地元と和歌山大学との関係発展の仲立ちの役割を果たす」ことを掲げております。

さて、多くの人は就業期を終えた後の老齢期の過ごし方は、年金・医療などで社会に支えられている一方で、社会を支える力も有りながら、その力は十分に発揮されていない現状であるかに思われます。

今号では社会人の地域社会デビューについて、大学や同窓の方々を取り組みを紹介致します。

経済学部では近年、学部・大学院の専攻を改革されました。その改革について、社会人学生受入の視点からお話をお聞きしました。

「経済学部は改組をして、平成28年度から1学科6プログラム制になりました。プログラム制の特徴のひとつは、将来の進路を意識しながら、分野横断的に学ぶというものです。これまでは分野(ほぼ専

門分野に対応する3学科)別に人材を育成してきました。ですので、社会の方が、在学中に学んだ分野を超えて、さらなる学びが必要になった場合には、今の仕事に近いプログラムを利用させていただくと、何か役に立つものがあるかもしれません。」

「現実には、学部の場合は、日中に授業がありますので、仕事と両立することは難しいと思われれます。そもそも、会員の皆様は、大学を卒業されていますから、大学院修士課程の一般選抜の出願資格をお持ちですし、一定の年齢と就業年数があれば、社会人特別選抜

への出願も可能ですから、入学試験に合格すれば、大学院修士課程で学んでいただけます。」

「社会の方が大学院で学びやすくなるように、いくつか制度があります。ひとつは、修学期間を延長する制度で



令和3年度 第11回ホームカミングデイのご案内 (コロナ感染症状況により、変更となる場合があります)

日時: 令和3年10月23日(土) 13時30分~ 場所: 和歌山大学キャンパス (和歌山市栄谷930)

概要: 歓迎式典 (15時30分終了)

講演 「システム工学部の四半世紀~5学科制から1学科10メジャー制へ~」

和歌山大学システム工学部 野村 孝徳 学部長

「共創」による新たな地域連携 —Kii-Plus 紀伊半島価値共創基幹の取り組み—

和歌山大学 山本 進三 理事・副学長 ほか

施設開放 紀州経済史文化史研究所 展示室

企画展「吉田初三郎式鳥観図から可視化する和歌山観光名所」

【申込み】10月17日(日)までに和歌山大学ホームカミングデー事務局までお申し込み下さい。

HP <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/> 参加申込ボタンをクリックして記入

Eメール hcd@ml.wakayama-u.ac.jp *名前 住所 電話 Eメール を記載して送信

す。通常、大学院修士課程の標準的な修学期間は2年ですが、職業を有している場合は、審査を経て認められれば、その期間を3年もしくは4年に延長することができます。」

「学費が余分にかかることにはなりますが、正規の修士課程に入学する前に、授業を受けて単位を取得できる科目等履修という制度もあります。この制度で取得した単位は、正規の修士課程に入学したときに、既修得単位として認定できる場合があります。」

大学院改革では、より専門性・汎用性を高めるため1専攻8プログラム制に改められました。

今や地方が元気を取り戻すことは国家の大事です。専攻を終えた学生が地域社会で力を発揮される日が待ち望まれます。改革にかけた思いなどお聞かせ下さい。

「改組にかけた思いの部分は、ぜひ、マグレビ前学部長にお話しを聞いていただければと思います。」

研究科としては、長年、改組に取り組んできました。マグレビ前学部長の強い思いがなければ、今回の改組も実現しなかったと思います。」

「私自身は数年前、教務委員に就いていたときに改組に関わりましたが、進みませんでした。私は、経済学を専門分野としていないので、コンセプトのような大きな話も、カリキュラムのような細かい話も、的を射た提案をすることや的確な評価をすることが困難でした。今回、私にできたことは、提出する書類の誤字・脱字をチェックすることぐらいでした。」

「今回の改組では、修士課程に対して、従来からの研究者養成に加え、専門職業人の養成も求められていることを意識しています。」

地域社会において多くの方々と関わり合いながら、新しい価値を作り出せる人材を養成することが目標です。最初にお話しされたように、社会を支える力がありながら、その力が発揮されていない方には、その力の礎となっている知識を学術的に整理することで、新たな価値を生み出す力へと変わるような

気がします。そのようにして整理された知識は、これまでの経験という実践力を含んだものですから、若い力を育てていくためにも十分に活用していただけたと思います。私たち教員が社会人学生のみなさんにできることは、知識を再構築するお手伝いです。もしよろしければ、ぜひ、経済学研究科にご入学ください。」

「社会人経験者の先輩に、若い学生と一緒に学んで頂けることで、単に経験を伝えて頂くのではなく、学生時代に得た知識が、社会に出た後にどう仕事に結び付き活かせるかを後輩に伝えて頂き、知識の習得と経験のサイクルが生まれることを期待しています。」



(教育学部棟内の仮学部長室にお訪ねしました)

経済学研究科 1専攻8プログラム

1専攻	8プログラム
経済学専攻	エネルギー・アナリティクス&政策
	イスラム金融・経済学
	都市ビジネスデザイン
	都市・地域と交通
	会計・税法・企業コンサルティング
	グローバルビジネスマネジメント
	グローバル政治経済
サステナブルアグリビジネス&フードシステム	

令和3年(2021年)4月から、より専門性・汎用性を高めるため改革が実施に移された。

和歌山支部総会（令和3年5月22日）報告 和歌山支部幹事長：山中盛義（28期）

昨年度に続き新型コロナ禍の影響で、各支部の総会の開催が危ぶまれる中、今年は恒例の懇親会は中止し、講演会及び総会を令和3年5月22日「ルミエール華月殿」にてウイルス対策を講じ、来賓に本部理事の西本正人氏、和歌山大学基金室 室長の青木稔氏、衆議院議員の門博文氏（大36）をお迎えし、13名の支部会員及び1名の留学生（招待）で開催いたしました。

まず講演会には南方熊楠記念館前館長の谷脇幹雄氏（院44）を講師に招き「南方熊楠に何を学ぶか」につき講演していただきました。和歌山県が生んだ博物学の巨星である南方熊楠の人生及びその功績につき短い時間でありましたが、簡潔に説明いただきました。より理解を深めるため和歌山県白浜町にある南方熊楠記念館を訪問しなければとの思いが高まりました。



講演会の後、坂本漸支部長より開会のあいさつ
の後、各議案の審議を行い、全案異議なく承認され
ました（議案書は柑芦わかやま第43号に記載）。
その後、本部理事の西本氏より本部北村会長の
メッセージ、和歌山大学基金室長の青木氏より
伊東学長のメッセージをいただき、門博文代議士
より祝辞及び新型コロナウイルス対策を含めた国
政報告をいただきました。最後は塩路副支部長の
挨拶で終了となりましたが、来年こそは多くの方
々に来ていただき、懇親会を含めた楽しい支部総
会を開催できるよう切に祈るところです。

支部活動状況の報告

①「柑芦わかやま」発行

第42号（令和2年10月15日）、第43号（令和3年4月20日）

第43号は5,074名の支部会員全員に送付し、会費収入の増加を目指しました。

②和歌山大学（基金室）への支援（令和2年5月28日）

松下会館の再生に向けて50万円の拠出をいたしました。

③和歌山大学硬式野球部への支援（令和3年5月27日）

和大硬式野球部の全日本大学野球選手権出場に際し5万円の拠出をいたしました。

④門博文後援会の設立総会を開催（令和3年4月3日）

当支部会員である門博文代議士を支援すべく「和歌山大学OB会門博文後援会」を設立しました。

追悼

支部幹事長代行の**小池布紗雄様**（大11）が令和3年7月8日に80歳でご逝去されました。持ち前の慎重さと繊細さで長年支部を支え、運営していただいたことに対し、心よりの感謝とご冥福をお祈りいたします。

昭和16年3月生まれ

昭和38年大学卒業後、昭和41年より山中・小川会計事務所勤務

昭和61年に所長の山中静が和歌山支部長に就任するとともに事務局長就任

「柑芦わかやま」は平成元年の創刊より編集委員

平成17年に事務局移転に伴い、幹事長代行となるが、会計は平成28年まで担当

特集「地域社会デビュー」

紀伊半島価値共創基幹 生涯学習・リカレント教育推進室の取り組み

足立 基浩 室長（副学長 経済学部教授）

和歌山大学で2020年4月、Kii-Plus（キイプラス）という愛称で親しまれるようになった部門（和歌山大学価値共創基幹）が誕生しました。この部門は和歌山大学がこれまでの研究、教育の地域での連携をさらに深めるべく創設した新しい基幹です。

なかでも、私は、この部門内の生涯学習・リカレント教育推進室に関わらせて頂いております。

21世紀も20年が経過し、学びの質は義務教育、高等学校、大学を超え、「生涯学習」と「リカレント」の時代に入ってきました。生涯学習はその名の通り「生涯現役」で「学ぶ」ことにあります。私まちづくりが専門ですが、まちづくりという分野はまさに「生涯」かけて学ぶ領域と呼ばれるほど範囲が広く、かつ興味深いものです。生涯教育について和歌山大学は、行政と協働でまちづくりワークショップをはじめ様々な形で教育活動を展開しております。

また最近ではリカレント教育にも力を入れています。リカレント教育とは「社会人の学び直し（先端技術等）」のような社会人の皆様などに専門教育を行うものです。まさに現在必要とされている学びの分野をピンポイントで学習します。和歌山大学では理系分野を中心に、人工知能やデータサイエンス、またロボット工学など、専門スタッフによる幅広い教育を実施しております。

このようにKii-Plusでは、生涯学習、リカレント教育、そして地域連携の中で具体的に何かできないかを日々模索しております。

ところで、私が20年以上に及んで関わってまいりました生涯学習についてご紹介させて頂けたらと思います。

1998年に和歌山大学に生涯学習教育研究センターが設置され、同センターは生涯学習を通じて官民連携の拠点を担ってまいりました。また、2010年からは「地域連携・生涯学習センター」と名称が変わり、地域連携が今まで以上に強調され、本学のみならず地域のまちづくりの拠点としての役割を果たしてきました。このころより、行政はもちろん、市民から和歌山大学の「地域連携といえば生涯学習センター」としての位置づけが明確になってきたように思います。

私がこの地域連携・生涯学習センターで思い出すのは、今から20年ほど前に、私が講師として実施したまちづくりの講座「ヒューマンカレッジ」です。これは月に一度のまちづくりに関する勉強会で、3年間は和歌山県と和歌山大学の協働で進めてまいりました（この講座は3年で終了しましたが、今でも1年に数回、メンバーと集まっています）。

この講座では、中心市街地活性化などをはじめ、いくつかのテーマについてワークショップを作りチームごとに議論を行いました。

なかでも記憶にあるのが「コミュニティバ



スに乗って街に飛び出そう」というチームです。メンバーはリタイアされた方、主婦、行政関係の方も一市民として加わり、みんなで和歌山のバス路線・時刻表に求めたいもの、についてわいわい話し合いました。和歌山のまちづくりにおいて課題として多く挙げられるのが公共交通の問題です。今では路面電車の話なども出るようになりましたが、20年も前から和歌山の公共交通についていろいろアイデアを巡らせておりました。

仕事での肩書を忘れて、意見を出し合うことの楽しさ。自主ゼミも行われ、各メンバーは土日などに個別に集まり、学びを深めておられました。

年に数回の飲み会も恒例行事になりました。

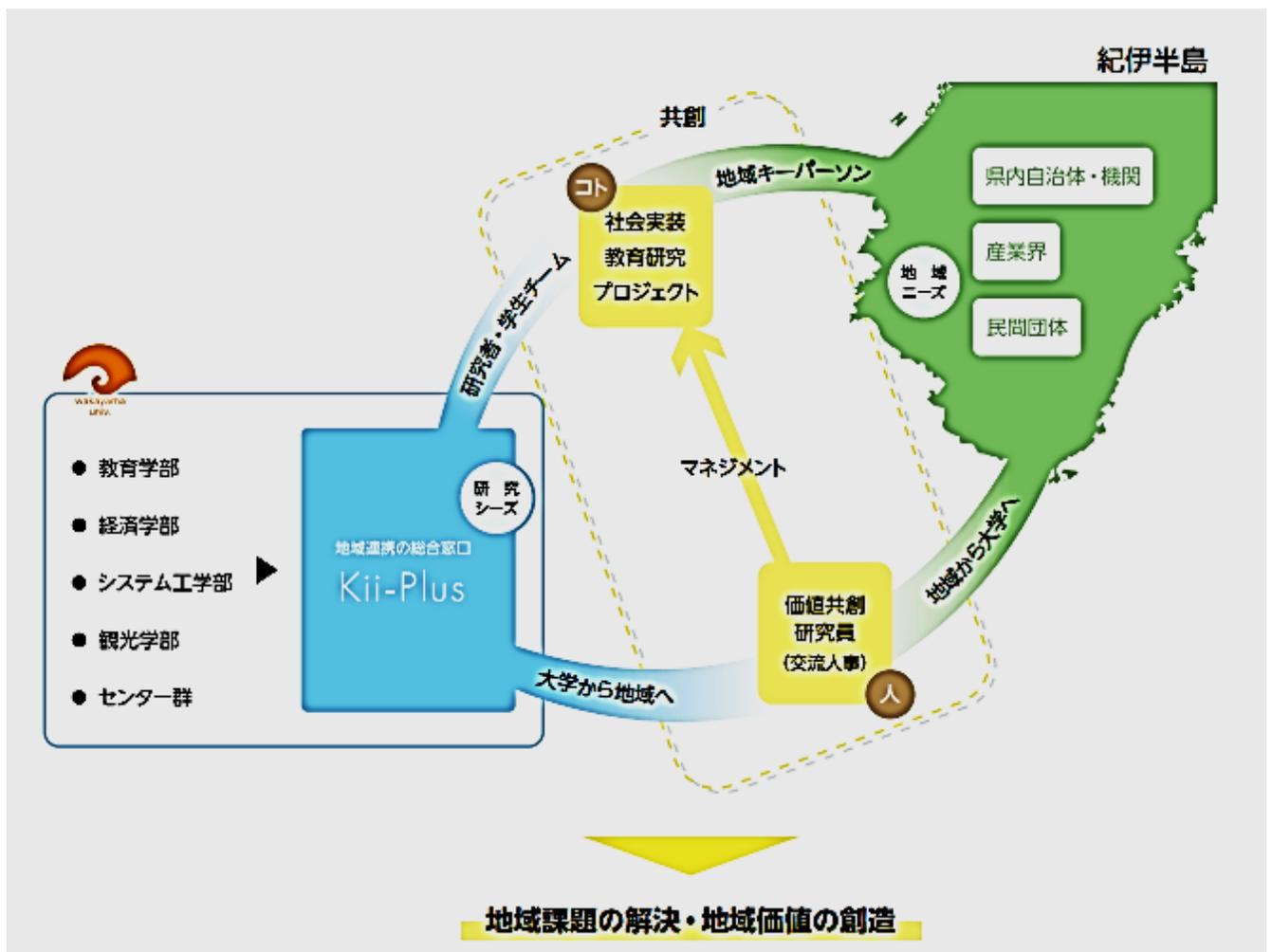
冒頭に申し上げさせて頂きましたが、生涯学ぶということはそれ自体が人生の楽しみともいえましよう。アメリカにて自動車業を興したヘンリー・フォードは

「20歳であろうと、80歳であろうが、学ぶことをやめてしまった人は老いる。学び続ける人はいつまでも若い」との言葉を残しています。

新しいことを探し、対峙し、理解を深めることはそれ自体が一つの喜びです。そんな場所に今でも関係させて頂くことに私も喜びを感じております。

それは専門分野の学び「リカレント教育」講座でも同じことかと思えます。

和歌山大学では様々な生涯学習に関する取り組みをはじめ、また有料ではございますが、データサイエンスやAI、ロボット工学などをはじめとした豊富なメニューのリカレント教育メニューをご用意いたしております。ご興味のある方は是非このKii-Plusの門戸をたたいてくださいませ。



特集「地域社会デビュー」
 認定特定非営利活動法人
 わかやまNPOセンター 副理事長・事務局長
 和歌山県NPOサポートセンター
 志場久起 センター長
 (教育学部47期・教育大学院H13卒)

NPO活動を支援する中間組織としてのNPOセンターの活動に係わられた動機は何でしょうか。

わたしが教育学部を卒業した頃は、教職員の募集人数が極端に落ち込んでいる時期でして、これは教員にはなかなかないな、と大学院に進みました。「学校以外でも学べる場所がある」と言うことを知って、社会教育・生涯学習にも興味が出ていたこともあり、様々な活動に参加させていただくようになりました。そんななか、NPOを支援する「中間支援NPO」としてわかやまNPOセンターの事務局長を探していると声をかけていただいたのがきっかけです。



平成10年(1998年)にNPO法が施行されて以来全国に数多くのNPO法人が設立されています。

現在和歌山県にも約380のNPO法人が有るとお聞きします。法人格を持たずに非営利活動をしているグループや団体も沢山有り、こういった市民活動が地域社会で果たす役割は大きいと思います。

介護や障害福祉などの法律に基づく福祉事業をおこなうために法人格を取得するケースも少なくありませんが、全般的には市民のみなさんの社会貢献意識が高まっていることや、退職後も何か地域のためになる活動を続けたいという想いを持たれているシニア世代の方も少なくないと思われます。

現在は一般社団法人など別の法人格も登場していることからNPO法人の数は漸減傾向にありますが、行政でも企業でもアプローチが難しい地域課題解決のために活動するNPO法人の役割はますます重要になっていくものと考えています。

本号では「地域社会デビュー」をテーマに、社会に繋がって活動したい人たちに機会を提供する取り組みを行っている機関等を紹介しています。

NPO活動への参加によっても、仲間と輪を作り、人の役に立ち社会に貢献することが出来ると思いますが、どんな活動に参加するか、皆とうまくやってゆけるかは、簡単なことでは無いと思います。アドバイスをお願いします。

それまで培ってきたご自身の価値観やものの考え方、そして信念が、関わろうとする組織とマッチするかどうかは正直、相性もあるかと思えます。まずはボランティア等「おためし」期間として軽く参加してみて、相性がよさそうであれば徐々に参画する頻度を高めていく、というのがいいのではないのでしょうか。

県内のあるNPO法人の事務所におじゃましましたら「現役時代の肩書は捨てて、フラットな関係をつくりましょう」という趣旨の貼り紙がしてありました。ご自身の経験やプライドを一旦脱ぎ捨てることは簡単ではないかもしれませんが、まずは団体に溶け込まないとご自身の経験を活かすことは難しいと思います。

出産・子育て、貧困・格差、教育、障害、高齢化、環境などなど、豊かな日本になっても社会課題や地域課題は山積しています。行政に多くを依存することも現在の国や地方の財政事情から難しくなっ

行くと思われます。

悠々自適の老後というのも、だんだん難しくなるでしょう。人生100年時代を迎え、高齢者の能力を活かす取り組みが様々に行われていますが、高齢者のNPO活動への参加についてお聞かせ下さい。

ある研究では、地域活動に参加している人は健康寿命が長い傾向にある、という結果が出ているそうです。町内会など地域組織の活動やNPO・ボランティア団体の活動に参加することがご自身の健康増進につながると考えると、ひとつのモチベーションにつながるのではないのでしょうか。

また現在、共働き世帯の数が専業主婦・主夫世帯の数を大きく上回っているほか、ひとり親世帯も増加しています。このため現役世代が地域の様々な活動に参加する時間が作れない傾向にある、というアンケート結果もあります。比較的時間にゆとりがあるシニア世代のいっそうの参画が求められるのはもちろん、あらゆる世代が地域活動に参加できるよう、地域の様々な組織の見直しなども必要になってくるかもしれません。

産学官民などと言われますが、市民活動と公的セクターや民間セクターとの連携した取り組みがありましたらお聞かせ下さい。

和歌山県内でも急速に数を増やしている「子ども食堂」が好例ではないかと思えます。ほとんどはボランティアで運営されていますが、和歌山市内を中心に和歌山大学などの学生さんがボランティアとして活動に参加しているところが増加しています。

また、地域の農家や商店のみなさんが食材を提供したり、行政も補助金や情報発信などの運営支援をおこなうようになっています。

「地域のこどもを地域全体で支え、育てよう」という目標に産官学民が連携して取り組まれており、今後もこの動きは続くものと思われます。

有り難うございました。貴センターの益々のご活躍を祈念致します。

県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 9階 和歌山県 NPO サポートセンター



NPO活動参加の動機

1. 人の役に立ち、社会や地域に貢献したい。
 2. 組織の理念や活動目的に共感した。
 3. 自分の経験や能力を活かしたかった。
 4. 新しい知識や技術、経験を得るため。
 5. 仲間や友人の輪を広げることができる。
- (現代の社会教育と生涯学習 松田武雄 著
九州大学出版会 より)

国家・市場の強大な力に比して、弱くなった コミュニティの元気を取り戻すには……

衰退したコミュニティの再生に成功した事例には次のテーマが共通しているようだ。

- 小さな熱意あるチームが取り組みを主導していること。
- コミュニティ内の異なるさまざまな関係者が結集していること。
- 人的資本を含むコミュニティの主要な資産を発見し、活用し、向上させていること。
- 重大な弱点を克服してコミュニティのイメージを変えることに集中していること。
- 成功の兆しが見えてそれを誇りに持つようになったところで、住民を参加させること。

「第三の支柱 コミュニティ再生の経済学」
ラグラム・ラジャン著 月谷真紀 訳 (p399)

特集「地域社会デビュー」

「和歌山市交響楽団」と「和歌山大学」

和歌山市交響楽団 理事 高橋巧二 経済学部 27期



合唱団との合同演奏会

和歌山市に「和歌山市交響楽団」（以下「市響」）があるのをご存知でしょうか？実は和歌山大学とは大変縁の深い、47年の歴史ある市民オーケストラです。

市響は、「和歌山市に音楽文化を」と和歌山大学教育学部の往住雅司教授のご尽力により昭和49年1月に発足しました。設立当初は団員も少なく、クリーニング屋さん・お医者さん・会社員・高校生と多士済々。もちろんプロは一人も居ません。本当に市民が支えるオーケストラとして発足しました。メンバー集めに奔走されていた往住先生は、和歌山大学交響楽団の学生にも多数声を掛けられました。僕もそのとき声掛けられて参加したメンバーの一人です。現在市響の団長恩地さん・指揮者江田さんも、和歌山大学の学生時代に往住先生に声掛けられ育てられて、その時以来今日までずっと市響の活動を支え続けています。

学生の僕は、コンサート終了後の「打ち上げ」が一番の楽しみでした。お決まりは県庁前「まつや」の2階。腹一杯食べて吞んで。でも往住先生は学生の僕たちからは一切お金は徴収しません

でした。打ち上げも団費も。ほんとに感謝です。

ただ、僕は昭和54年に大学卒業後は、仕事のため演奏活動も完全に卒業しました（ちなみに僕はトランペット奏者です）。「もう二度と楽器を手にすることは無いなあ」と強く思っていました。ところが53歳の時、ひょんな事で一度だけトランペットを吹くことになり、市響へ練習場所を借りようと30年ぶりに顔を出しました。するとどうでしょう！

昔のメンバーがまだ頑張っていて吹いているではないですか！「また吹くの？」「やったらエエやん」と声を掛けてもらい、つい調子に乗りまた入団して始めることになりました。



市民会館でのリハーサル風景

とは言うものの、30年のブランクは思っていた以上にとんでもなく高い壁でした。音が全然鳴りません。そこで「この際また基礎からきっちり練習し直そう」と、思い切って大阪梅田で毎月レッスンを受けることにしました。今も毎月通っています。

「人生に遅すぎると言うことは無い」と言いますが、本当にその通りだと思います。学生時代は体力に任せて吹いていましたが、今はそのパワーはありません。しかし長年の人生経験により、若い頃には聴こえなかった(聴こうとしなかった?)周りの音が、今は良く聴こえるようになっていくことに気付きました。「歳を重ねると言う事は決して衰えるばかりでは無い。新しい発見と成長がある」と今つくづく実感しています。

さて、現在の市響ですが、10代から70代までの幅広い年齢層の団員約70人が在籍。和歌山大学交響楽団との交流は今も続いています。定期演奏会は54回を重ね、平成16年には長年の和歌山市の音楽文化向上への貢献が認められ、和歌山市文化奨励賞も受賞致しました。

今年は、11月7日(日)第36回国民文化祭「オーケストラの祭典」として、市内中学校合同合唱団との演奏の他、全国から公募したアマチュアオーケストラ奏者と市響との合同演奏を、県民文化会館にて行います。

市民会館も和歌山城前に新しく「和歌山城ホール」としてオープンします。和歌山大学とともに成長した和歌山市交響楽団。是非、演奏会にも足をお運び頂けましたら幸甚です。 令和3年10月



アットホームな練習風景 スヤスヤ

「地域社会デビュー」を特集しました。

既に会社などの組織を離れ、地元で活躍されている同窓の皆さんがたくさんお有りかと思えます。かつて日本の田畑は、米の収穫の後には、麦や菜種を植えるなどの二毛作が行われ、年中作物が栽培されていました。

人生百年時代をいかに充実して過ごすかは大きなテーマです。

同窓の絆を活かす活動も、その一つに加えて頂ければと願うところです。

フェイスブックグループへのお誘い

「こうろわかやま」で検索して下さい。



紀雲書評同好会へのお誘い

毎月1回、和歌山市駅前会場に集まってその月に読んだ本を紹介しています。ジャンルは問いません、参加無料、出・欠自由の集まりです。



有志の皆さんでグループを立ち上げませんか

年会費お支払いのお願い

和歌山支部は支部会員の年会費で運営されています。

年会費は3,000円で、主に支部事務局の運営、柑芦わかやまの発刊に使われます。

今期の会費をお支払いでない方は、第43号に同封した振込票をお使いいただくか、下記紀陽銀行口座に振込をお願いいたします。

振込の際にはお名前の前に卒業期等を入れてください。(例：ケイ42 コウロ タロウ)

紀陽銀行本店営業部 普通預金 789216

和歌山大学柑芦会和歌山支部

「南方熊楠と私」

公益財団法人南方熊楠記念館 顧問 谷脇幹雄
(和歌山大学大学院経済学研究科 44期)

「南方熊楠って何をした人なの？」よく聴かれる質問です。和歌山が生んだ天才、世界的博物学者・民俗学者等々色々答え方がありますが、一言で答えるのは難しいと思います。

テレビ「クイズ東大王」で「天才と言えば？」で第一位、今春の大学共通一次試験で倫理社会の設問に採り上げられた等最近のエピソードだけでも多くあります。

私がいつも答えているのは、昭和天皇が「雨にけふる神島を見て紀伊の国の生みし南方熊楠を思ふ」と個人名をフルネームで御製に詠まれた唯一の人物で、それだけ評価されていたと言うことです。

私が初めて翁のことを知ったのは、雄湊小学校5年生の時担任が出張で教頭先生が代講で、君たちの先輩には凄い人が2人いるんだよ。一人は松下幸之助、もう一人は南方熊楠、この人が書いた本で凄いのは干支についてのうんちくを書いた「十二支考」だということでした。

大変難しい本であったが早速読んで感銘をうけ、小学校の卒業文集で「将来の夢」として民俗学者になりたいと書いたのはこれがきっかけであった。民俗学者にはなれなかったが、県庁定年退職後、白浜の南方熊楠記念館長として充実した生活を過ごせたのは大変有難いと思っています。



南方熊楠記念館

和歌山県西牟婁郡白浜町 3601-1

翁の生誕150年を記念しての新館建設に注力し、この年マスコミ取材はNHK、BBC、香港、台湾のTV局等162社、講演は、台湾での2回を含め52回と忙殺を極めた。秋篠宮ご夫妻と悠仁様にご来館を賜り、1時間20分の案内をさせて頂いたことはこの上ない喜びでした。

県庁の企画部で、和歌山大学の総合大学化を担当した縁もあり、社会人として大学院生として学び、また修了後、非常勤講師として5年間「観光と地域活性」と「わかやま学」を担当し、立ち見が出る位人気のある授業をすることが出来たのも楽しい思い出です。

この中で毎年1コマは南方熊楠について語った。このメインは、南方熊楠に何を学ぶかということと3つのキーワードで説明しました。



令和3年5月22日 柑芦会和歌山支部総会で講演

1つめのキーワード 「国際性」

明治期の偉人と言われるような人の多くは欧米に留学していますが多くは1,2年であり、例えば文豪であり医者として軍医総監にまでなった森鷗外でさえドイツ留学は4年間でした。

熊楠は、学位は持っていないとはいえ14年間アメリカ、キューバ、イギリスとまわり研究に没頭しました。また巷間、熊楠は十数カ国語を理解したと言われていますが少なくとも英、仏、独、中、伊、スペイン語は理解できたようです。記念館所蔵文書の中にロシア語の落書きのようなものも見られます。その上に孫文をはじめとする多くの交友も評価されるべきだと思います。

2つめのキーワード 「学際性」

今の学問はあまりにも専門化・細分化されているが、熊楠の興味・関心は、土俗学、民俗学、民族学、

人類学、宗教学、歴史学、考古学、博物学、生物学、本草学、植物学、微生物、地衣類、菌類、粘菌（変形菌）、地学、地質学、鉱物学、岩石学、天文学、文学等々まさに森羅万象すべてといってもよいくらいで、この興味・関心の広さを我々は学ぶべきでしょう。

3つめのキーワード 「在野性」

ここでいう「在野性」とは2つの意味を持ち、

1つは、生涯通じて給料を得て研究や教育に携わったことがないということです。偉大なるアマチュアとも言えます。

2つめはフィールドを大切にしたということです。珍しい地衣類を求めて、フロリダ・キューバまで採集に出かけました。日本に戻ってからの熊野・那智でのフィールドワークや思索の時間は彼の研究の原点とも言えます。

最近の彼の評価として世界的にもキーワードとなっている「エコロジー」という言葉の日本における提唱者ともいわれるようになっていきます。

単にこの言葉を110年前に使ったと言うだけではなく、「神社合祀反対運動」は日本における自然保護活動の嚆矢とも言えるでしょう。

いずれにしても、和歌山が生んだ作家が、よく彼を主人公にした小説を書いています。

具体的には、佐藤春夫の「近代神仙譚」、津本陽の「巨人伝」、神坂次郎の「縛られた巨人」などです。

このように和歌山が生んだ「知の巨人南方熊楠」は間違いなく100年早かった男であったと言えるでしょう。

コラム <南方熊楠顕彰館ホームページから>

戦後間もなく、大蔵大臣で民俗学者でもあった渋沢敬三は昭和天皇から熊楠の逸話めいたものを聞かされた。

1929年の田辺での進講の時の話で「南方には面白いことがあったよ。長門（注、御召艦）に来た折、珍しい田辺付近産の動植物の標本を献上されたがね。普通献上というと桐の箱か何かに入れて来るのだが、南方はキャラメルのボール箱に入れて来てね。それでいいじゃないか」というものだった。（敬三は渋沢栄一の孫で渋沢家の家督を継いだ人物）

その後、敬三らの尽力で『南方熊楠全集』（全12巻）が出版された。

1962年5月、昭和天皇は南紀に行幸され、「雨にけふる神島を見て紀伊の国の生みし南方熊楠を思う」と詠まれた。

翌年1月1日の新聞に発表されたこのお歌が、その後の熊楠顕彰に大きなはずみとなり1965年には白浜町に南方熊楠記念館が開館。熊楠の超人的な足どりが人びとの前によく明らかになった。

本コラム文責
柑芦和歌山編集部



南方熊楠生誕地碑
和歌山市駅前 南約100m



展示案内：幼少期～青年期、海外での活躍、生物学者・南方熊楠、生活と熊楠の晩年、民俗学者・南方熊楠

交友抄

有本勝彦 (大学5期)

私は1953年(昭和28年)、関戸高松にあった経済学部に入學、1957年(昭和32年)に卒業した。経済学部の前身は、1922年(大正11年)設立の和歌山高等商業学校で、以来約百年、戦前戦後の日本の成長期におおくの人材を送りだしてきた。「商人たるに先だちてまず人となれ」の教えをもとに、人間的にも魅力のある卒業生を輩出した。

通学仲間

和歌山市関戸高松の学校までは、JR和歌山線の打田駅から大きな汽笛を鳴らしながら走る蒸気機関車を終点の和歌山市駅まで乗り、そこからチンチン電車(市電)で関戸高松まで、約1時間半かかった。

和歌山市駅は今は寂れ、チンチン電車も消えてしまったが、再開発の計画がうごきだしていると聞いている。駅にあった高島屋もとつくの昔に撤退し、南海線の終着駅となっている。和歌山市の南東にあるJR東和歌山駅が、1968年(昭和43年)和歌山駅となり、近鉄百貨店とともに和歌山市の顔になっている。関戸高松には洋裁学校があり、沿線の若い女の子が通う時間帯と重なり、通学途中は、賑やかな風景だった。

沿線からは、小林、千田、寺本、前田、岡らが5期生で一緒に通学した。小林は、後年「税務調査官 窓際太郎の事件簿」などで有名なテレビ俳優となる小林稔持のお兄さんで、秀才の白面の美青年だった。ただ、車内では、じっと目を閉じて座っていることが多く、口数はすくなかった。地元の紀陽銀行に就職したが、2-3年後に病み、亡くなった。小林稔持の発奮の原因になったのかもしれない。

千田は打田町駅前の材木店の跡取りで、保護士などを長くつとめ、地元のために尽くした。

前田は大手の石油会社に就職、功成り名とげ、今は、奥様と東京で悠々自適の生活だ。

寺本は、桃農家を引き継ぎ、美味しい荒川の桃をつくっている。

岡は馴れたパーソナリティーながら、人をそらさない長所を発揮、地元の企業で大成したが、数年前に帰

らぬ人となった

1年生D組と5期生同窓会「黒潮会」

経済学部の5期生は160名あまりだったが、女子生徒が4名いた。今は、4割近くが女子生徒ときいており様変わりだが、当時は経済学部は男社会だった。

4組にわけられ、各組に一人ずつ女子生徒が組み込まれた。私はD組だったが、女子生徒は、SNさんといって、丸顔の、色白の綺麗な人だった。思春期の男子生徒は、内心はわからぬが表面的には紳士的に対応したと思う。

5期生は、「黒潮会」と名付けて、5年ごとに同窓会をひらいている。良き幹事をえて、今でも50名前後が参加している。

最近の「黒潮会」でたまたま私の席が彼女の隣となった。おそらく彼女と直接話するのは初めてだろうか。問わず語らずの話のなかで、早くに夫を亡くし、苦勞しながら子供を育てたという。戦後の日本人は、全員精いっぱい努力して生き抜いた。

黒潮会の中に、ゴルフ同好会がある。私は1990年代の初めに入れてもらった。50数年つづいてきたが、ついに、5年ほど前に解散となった。

コースは、泉南の名門コース砂川国際ゴルフカントリークラブ(現関空クラシックゴルフコース)がほとんどで、多い時には、年6回プレイした。一時は30人余りがプレイしたが、最後は、一組3人で、二組がやつとだった。佐古、児玉、千田、南、寺本、それに私が残った。佐古のホールインワンをふくめ、幾多の興奮の渦を生んできたが、邯鄲の夢となってしまった。

和歌山大学創立70周年記念

2019年10月26日午後、1957年(昭和32年)に和歌山大学(和大)経済学部を卒業した5期生一行6人が、和歌山城をみおろす大和ロイネットホテルのレストランに集まった。旧交を温めた後、和歌山城そばの和大教育学部の跡地に生まれ変わった県立博物館の一面にある昔の講堂へ急いだ。和大創立70周年の記念式典を祝うためだ。



すでに大勢の先輩、後輩、先生方をはじめ関係者が着席している。佐古、児玉、南、千田、若林、綿野、それに私の面々だ。学長、学部長、柑蘆会会長、県知事など多数の来賓の祝辞があり、式典は粛々ととりおこなわれた。最後に、大学学歌を斉唱、経済学部長の三本締めで盛り上がった。年配者がおおく、歴史を感じる。

場所を変えて、午後5時から関戸高松の経済学部の食堂跡に移転された松下会館で懇親パーティーがおこなわれた。松下会館は松下幸之助が寄贈したものだ。全員アルコールも入り、会場は熱気につつまれた。久しぶりにあった旧友、先輩、後輩、ゼミの仲間、恩師などなど、旧友知己との交流に興奮の渦は最高潮に達する。

花の霞につつまれし
玉の台(うてな)のおばしまに
駿鸞(さんらん)の夢今たけて
門出を祝ふ盃(さかずき)や
若き眸(ひとみ)のぬるるかな

寮歌「花の霞に」を全員で歌って、中締めとなった。懇親パーティーも終わり、千田の学生時代からの行きつけの和歌山駅近くのバーに寄った。二人とも学生時代に帰り、くどくどと昔を肴にして痛飲した。私は初めてだったが、バーのマダムは、千田をよく覚えているのにはビックリした。ふたりにとり青春時代を謳歌する楽しいひと時だった。二人で、タクシーで帰り、家に転がり込んだ。

5期生は当時の成長期の日本経済の波にのり、銀行、商社、メーカー、損保などの業界を支えた逸材がおおかった。逝ってしまった方々の安らかな眠りをお祈りするとともに、幸いにして生を得た者は、これからもつづくであろう得難い経験をともにしたい。

貴重なお話と、お写真を有難うございました。
先輩諸兄の交友抄の寄稿をお待ちしています。

「柑芦わかやま」編集部

南紀熊野サテライト通信

和歌山大学南紀熊野サテライト

地域連携コーディネーター 古久保 綾子

紀南地域の現状や教育研究活動、社会人学生、地域連携の様子をご報告します。

緊急事態宣言下で移動が制限されるなか、地域での学習機会を継続するために、サテライトでも対面授業と合わせて遠隔授業を実施しています。

「コロナ後の世界に暮らす」の講義では、オンラインで和歌山大学4学部から学生53名が参加し社会人と共に、福祉政策やこころの資本、情報(メディア)リテラシー、教育とICT、ジャーナリズムの役割と責任、ウイルスと人間を通して環境のつながりを学びました。5人の講師が順に登壇し学部や世代を超えた意見交換がされて、混沌の時代を生きていくうえでの社会のあり方や今後の暮らしを考察しました。教育学部生の感想では、第4回講義で紹介された教育現場でのICT活用に関して、情報化社会で進むGIGAスクール構想など新しい教育への対応と現在の学習指導要領に関しての発問がされ、経済学部生からはコロナ禍の観光事業や、経済対策に関するコメントがあり興味深かったです。事後の学生アンケートの受講動機では、「タイトルや内容に関心があった」が70%、「単位が2単位取得できる」36%を大きく超えており「続編があれば受講したい」と回答した学生が73%で高値でした。

個人的にも興味深い講義内容でしたので、講師に紹介された本を購読したり、OECDのPISA調査で「日本のICT教育がすべての科目で群を抜いて清々しいくらいに調査国中で最下位」と紹介されていた項目に関しても調べてみました。我が国はこんなにICTの教育利用が遅れていたのかと衝撃を受けました。質疑の様子からは、受講した4学部の学生の興味関心の違いにも驚きまし

た。厳しい現状を学びながら受講した学生方が将来の教育者として、また地域経営を担う経営者や、ICT技術者として、次の社会を創って行くのだと頼もしくも感じました。引き続き、地域で教育支援をしていきます。前期は、遠隔授業で距離的な課題が無くなり本学生が126名受講しました。

コロナ禍で急速に進んだ教育現場のICT化とは別に、以前から内閣府のSociety5.0(経済発展と社会的課題解決を両立する人間中心社会)では「新しい社会」の提案がされており、紀南地域でも新たなスマート社会に向けて次世代技術を活用する事例が増えています。コロナによる危機や地域課題を再生のための機会に変えて挑戦する自治体や企業の新たな成長の芽になりそうな例を紹介します。

今年、明治4(1871)年11月に、和歌山、田辺、新宮の紀州3県が統合され和歌山県誕生150年の節目の年です。県では郷土愛の醸成のために文化芸術活動が計画されたり、IR(統合型リゾート)の誘致推進や、農林水産業でのICTなど最先端技術等を活用したスマート化や、ワーケーション施設の整備なども進んでいます。コロナ禍でテレワークが推進されて事務所に職員を集めなくても生産性と落とさず仕事ができる動きも出ています。東京や都市部への集中から一転して地方回帰の流れを活かした提案で、株式会社南紀白浜エアポートを窓口にワーケーションでの誘客も進められています。南紀白浜空港から羽田空港は、約60分で移動可能です。首都圏との往来がしやすい立地を活かして、県による積極的なICT関連企業の誘致も進んでいます。白浜町では、NEC、株式会社南紀白浜エアポート、ホテル、商業施設が連携し顔認証での客室施錠や店舗での決済が可能な実証実験など新たな技術を活用した取り組みも進んでいます。

すさみ町では、9月に見老津漁港から道の駅すさみまで約3kmの距離を時速30kmで11分間自

動走行して水揚げされたカツオを積んでドローンが届ける実証実験が行われました。まさに空飛ぶケンケン鰹です。これは、ソフトバンクが人口衛星を利用した高精度測位技術による自動飛行の実験を初めて実施したもので、今後の物流分野の需要開拓も図っているそうです。同町は、過疎高齢化が進み物流ドライバーの人手が少なく、観光客の多い週末に鮮度の良い魚を提供しづらい課題があり今回の実験では魚市場が休みの土曜も新鮮な魚をすぐに飲食店に届けられることで、今後の漁業のあり方に期待が寄せられています。

紀南では、このような農林水産業分野のドローンやリモコン式機器活用が進んでおり、みなべ町のスマート農業での作業の省力化や、田辺市での林業の苗木、資材運搬等、労働力を人から機械へと作業を転換する検証が各方面で進んでいます。

また、串本町田原では、日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」の建設が事業会社スペースワン(株)によって進められています。発射場に加えて管理運営、人工衛星やロケット組立を点検する施設も建設予定で、令和3年度内の初打ち上げに向けて見学場整備や交通渋滞対策などを周辺自治体、商工団体、交通関係者等で議論されています。

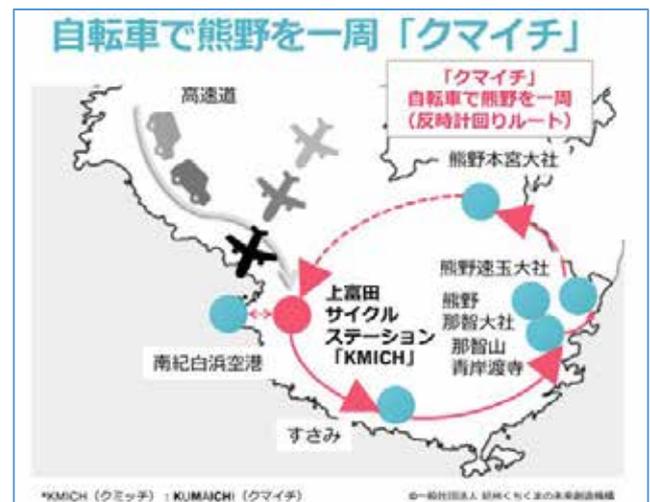
新宮市でも、10月に市街地再生を目的に、新宮駅から徒歩13分の場所に新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」が開館します。文化ホールは3層801席、最大収容1,142名、駐車場179台の施設で活用が期待されます。

広域でも、2015年に紀勢自動車道がすさみ町まで開通した影響で太平洋岸の国道42号線の交通量が激減して周辺の衰退が課題となっていました。昨年に42号線の活用に、すさみ町、上富田町、古座川町、白浜町、(株)南紀白浜エアポートが自転車でのツーリズムに関して連携協定を結んでいます。相互に運用するEバイクの乗り捨てやバッテリー充電が可能な体制構築を目

指しています。実証実験では、衛星利用測位システムを設置して位置を把握する事業も実施されました。自転車でのツーリズム事業では南紀熊野サテライトで学ぶ社会人塾生等が連携して各地の地域振興に頑張っています。



国道42号線を自転車で走行する様子



協議会が推奨する走行モデルルート



令和2年度観光庁誘客多角化実証事業の際に利用したGPSデバイスを装着した軌道調査GPSデバイス設置例

(写真提供：紀南エリアサイクルツーリズム協議会)

また、JR 西日本きのくに線でも「サイクルトレイン」の実証実験が始まりました。紀伊田辺駅～新宮駅間で9月1日～11月30日迄は、自転車を解体せずに車内に持ち込めます。追加料金不要で事前予約もなく利用可能です。二次交通に課題が多かった紀南の地で、環境負荷の少ない自転車と広域連携で新たな道が結ばれています。このように、紀南の空、海、山、畑で、新しい動きが進められています。

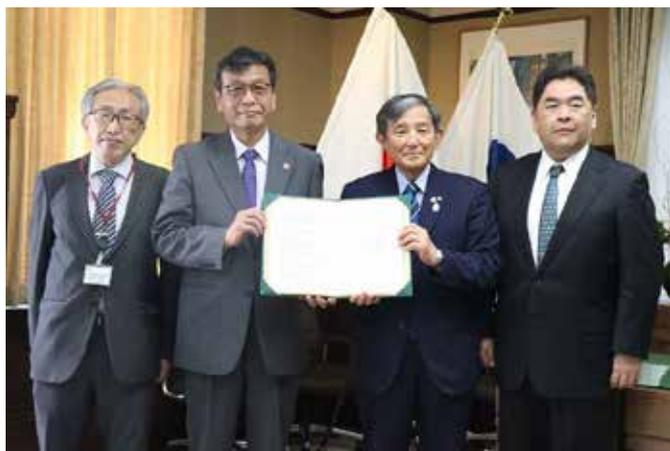
和歌山大学でも、株式会社南紀白浜エアポートとの包括連携での地域の観光人材の育成や、南紀熊野ジオパーク推進協議会と教育や研究、地域振興の分野での連携を深めるための包括連携が結ばれ、大地の恵みや無形文化遺産などを学ぶ副教材の開発などにも現在、取り組んでいます。



世界農業遺産の親子体験教室の様子 8月



修了者が講師で高城中学校の授業をする様子 9月



南紀熊野ジオパーク推進協議会、県との連携協定 3月

また、梅や紀州備長炭、養蜂など地域産業を支える環境を暮らしの中で継承してきた「世界農業遺産みなべ・田辺の梅システム」でも、地域の小中高大で連携して学習プログラムの作成を学生やサテライト修了生等と共に取り組んでいます。

和歌山大学で学ぶ人を支え、その後の学習や活動にも並走しています。教育もコロナ禍で価値観の転化が進んでいます。激変する時代でも、古くからの産業を大事に継承しながら、新しい社会に向けて日々刻々と変わる現状を地域で感じ、次代に果たすべき役割は何か。地に足が着いた調査研究の成果を地域に還元しながら持続可能な地域振興や時代の課題に即した学びの機会を設けて紀南地域の「知」の拠り所として同窓の皆様とともに活動を進めていきます。



令和2年度 和歌山県内就職状況(経済学部)

勤務先名	令和3年3月31日現在		
	男	女	計
きのくに信用金庫	2	4	6
タケヤテック株式会社	1		1
わかやま市民生活協同組合	1		1
わかやま農業協同組合		1	1
医療法人 裕紫会 中谷病院	1		1
株式会社アドヴァンス		1	1
株式会社オーエ		2	2
株式会社オークワ	1		1
株式会社サイバーリンクス		1	1
株式会社サンコー		1	1
株式会社プラス		1	1
株式会社ふる一つふあーむわかやま		1	1
株式会社紀陽銀行	10	2	12
株式会社酒直		1	1
株式会社大黒		1	1
紀の川市役所	1	1	2
紀南農業協同組合	1		1
紀美野町役場		1	1
紀陽情報システム株式会社	2	2	4
紀和化学工業株式会社	1		1
橋本市役所	1		1
古都里 志高庵	1		1
御坊市役所		1	1
税理士法人川邑・中 合同会計事務所		1	1
全国共済農業協同組合連合会和歌山県本部	1		1
竹内化学株式会社	1		1
菱岡工業株式会社		1	1
和歌山ゼロックス株式会社		1	1
和歌山県警察本部	2		2
和歌山県信用農業協同組合連合会	1		1
和歌山県信用保証協会	1		1
和歌山県庁	3	1	4
和歌山県庁(警察事務)		1	1
和歌山県農業協同組合連合会		1	1
和歌山市消防局	1		1
和歌山市役所	2	1	3
和歌山日産自動車株式会社		1	1
和歌山労働局	1		1
総計	36	29	65

県内就職率＝県内就職者/就職者数 =65/292≒22.3%

クラブ紹介

剣道部



多くの人にとって、剣道というスポーツはなじみのないものだと思います。そこで、少し剣道についてお話ししたいと思います。剣道はどんな人たちも楽しめる武道です。たとえ国が違えども楽しめます。そして、いくつになっても続けられる武道なので、大学卒業後も続けられます。実際そういった先輩方も多数おられます。また、「礼法」が大事とされ、これから必要になる礼儀についても学ぶことができます。

剣道部は武道ということもあり、厳格な上下関係などが想像されがちですが、実際には和歌山大学体育会剣道部は和気あいあいとしていて学年を超えて仲が良いです。日々の稽古においては、それぞれが自分で課題を見つけて努力し、ときには同じ部員からアドバイスを聞いて稽古に励んでいます。

そうして積み上げてきたものが試合で発揮され、勝つことができたときの嬉しさは格別です。試合に出場するためのレギュラー争いもあり、部員同士が切磋琢磨して稽古をしています。さらに、昨年からは部員数も大幅に増加し、より熱気のあるレベル

の高い練習を行っています。

また、定期的に先生方・先輩方・地域の剣道をしておられる方をお招きして、稽古会も行い、普段とはまた違った気持ちで稽古を行っています。



最近の大会成績は、一昨年の全日本オープン剣道大会男子個人3位、近畿地区国立大学体育大会では、男子個人2位、男子団体3位、先日6月に行われた関西学生剣道選手権大会では経済学部3回生の小幡侑矢が個人ベスト16に入り、全日本学生剣道選手権大会に出場予定です。

例年、女子部員数が少なく団体メンバーを組むことができず、大会で成績を残すことができていませんでしたが、今年からは人数もそろい良い成績を残せるよう練習に励んでいます。



留学生寄稿 最初の夏

ヌルル イザ ビンティ カイルル アンワル
経済学部2年 マレーシア ☆イザさんと呼ばれています

私はマレーシアから来ました。マレーシアには四季がありません。赤道付近に位置するマレーシアの気候は赤道気候に分類され、1年中高温多湿です。平均気温は27℃だと思います。また、マレーシアには2つのモンスーン風の季節があり、それによって雨が降ります。マレーシアと違って、日本は四季のある国です。それゆえ、四季のある国の人々の暮らしぶりを感じることができるようになったことはワクワクしています。

私は寒いのが苦手なので、和歌山に来て一人暮らしを始めました。最近、コロナウィルス感染症が拡大しているので、私はあまり出かけませんでした。そして、私の授業がほとんど遠隔授業です。そのため、私はたいてい家にいますが、生活必要品の買い物に行くこともあります。毎晩、家族と電話します。気がつけば、夏休みが始まりました。良かったことは、私の2回目のワクチン接種が授業の最終の日でした。

夏休みには、二人の神戸に住んでいる友達が和歌山へ私とあと二人の友達を見に来ました。私達はりんくうタウンへ買い物に行きました。明るく日、片男波海水浴場へピクニックに行きました。パスタやピザを食べたり、写真を撮ったりしました。それだけでなく、浜辺で泳いだり、日の入りを見たりもしました。小さい事件が起こったが、楽しかったです。



次の日に、3日間神戸へ行きました。人との接触を少なくするために、レンタカーで神戸へ行くことにしました。神戸に住んでいる友達の家に泊まります。神戸に向かう途中、和泉リサイクル環境公園に立ち寄って花を見ました。特に、ひまわりです。きれいです。しかし、残念ですが、咲いている花は少なかったです。

神戸に着いて、神戸モスクでお祈りしました。お久しぶりにモスクでお祈りして、嬉しいです。それから、ハラル店へ少し買い物に行きました。ハラルレストランでお持ち帰りとして、シャワルマも買いました。その夜は、神戸に住む他の友達とゲームをしたり、話をしたりしました。

前回神戸に行ったときには、私達はメリケンパークなどの有名な場所に行っていたので、2日目はオリンピックシーズンということもあり、三宮にある TOKYO2020 オリンピックショップに行きました。私は家族のためにシャツを買いました。その後は IKEA に行きました。私は既にたくさんのお金を使っていたので、ウィンドウショッピングをただけでした。それにしても、楽しかったです。最後の日、私たちは和歌山に帰りました。

奈良県も行きました。神戸と同じようにレンタカーで行きました。確かに「奈良ならば、鹿しかない」という文章はピッタリです。どこでも鹿がいます。私達は初めて鹿を見るので、ワクワクする

と同時に、鹿に噛まれるのではないかと心配になります。鹿はとても可愛いです。しかし、鹿に追いかけられたこともあります。

その後、東大寺を訪れました。東大寺には、大きな仏陀があり、外の庭も美しいです。イスラム教ではお守りを信じることができないという理由で、私達はお土産にお守りを買いました。とにかく、奈良県の旅行は面白かったです。

せっかく日本に留学しているのだから、旅行したり、日本の文化や習慣を体験したりした方が良いと思います。私達が行く場所はどこも人が少なく、良かったです。今度機会があれば、友達と一緒に和歌山だけでなく、日本全国の色々なところへ行きたいです。特に、有名なお寺です。さらに、沢山思い出を作りたいです。そのため、コロナウィルス感染症が早く終わりますようにと祈っています。全体として、今年の夏は良い経験となりました。



和歌山の健康寿命をもっと長く わかやまシニアエクササイズ

和大（和歌山大学）が開発した“話題”の体操



和歌山大学教育学部
本山 貢 先生（学部長）



編集後記

新型コロナの感染拡大から二年目を迎えようとしています。大学も同窓の皆様も夫々に大変な時期を過ごされたことと思います。再起の願いを込めて今号では地域社会デビューを特集しました。記事の取材や寄稿にご協力頂いた各位に深く感謝申し上げます。

柑芦わかやま編集部 編集委員

松野浩行、山中盛義、西川一弘

編集委員（兼）事務局

渥美正道、渥美盛也